

2018年11月11日 主日礼拝 <洗礼式・聖餐式>

司 会 ①浅井兄 ②間兄 ③原健兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②森屋崇兄 ③鷺澤兄

使徒信条

賛 美 讃美歌312番「いつくしみ深きイエス様」

(God is working for my good) (イエスあなたの名は)

聖 書 ①② ルカによる福音書23章39～43節 (P132)

③ 哀歌3章22～23節 (P1145)

音 楽 ① 感謝組

②③モーセ会 (指揮:川田直輝兄 伴奏:山野翠姉、佐林結実姉)

証 詞 ①②戸田喜耶姉(学生会)

メッセージ ①②「あの美しいお膝元のお庭で」 坪井永城副牧師

③ 「主の慈しみは、決して絶えない」 大川従道牧師

賛 美 「聖霊さまあなたを求めます」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。『あなたの真実はそれほど深い。』」
(哀歌三の二十二・二十三・新共同訳)

【大和ニュース】

- * 各礼拝後「聖餐式」。先週受けられなかった聖徒は、必ずお受け下さい。
- ☆ 転入会者を歓迎。松下姉(ハンナ会) ☆ 祝！受洗！喜古姉(サラの会)
- ・ 本日、入門講座Ⅱ、モーセ会、SS主任会、プレミアムクワイア(13:30・泉会堂) J. Plus(ヤンチャ)、秋の味覚パーティー(学生会・青年会)、YYタイム(12:30・森)。
- * 東京カルバリーは、16時50分より。説教は大川牧師・独唱は衛藤姉。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は土屋勇人先生(札幌ホーリネス教会)
②木曜朝は丸藤伝道師 ③金曜夜は大野M伝道師
- ・ 来週は「収穫感謝礼拝」。お庭の果実や野菜をお捧げしましょう！

石の枕

これは鴨居の「横浜カルバリーチャペル」の週報からの一部拝借です。

3人のビジネスマンが、南アフリカの高層ホテル51階の部屋に泊った。夜になって外出先からホテルに帰ると、何とエレベーターが故障で部屋には階段を登る以外に方法がなかった。(快男児!?)

そこで、彼らは途中で気が滅入らないようにと、17階ずつひとりひとりストーリーを話しながら登ることにした。最初の人面白い話、2人目は恐ろしい話、そして、最後の人悲しい話をしながら登る事となった。

すると、これが結構楽しくて、あっという間に50階まで登ってしまったのだが、あと1階で話が尽きてしまい3人とも黙りこんでしまった。やがて、その中のひとりが沈黙を破って叫んだ。「今日、最も悲しくも、恐ろしい話がある！部屋の鍵をフロントでもらうのを忘れて来た！」

*あなたは、天国に入る鍵をお持ちですか。苦勞して、努力して登り続けて来たのに、思いがけないアクシデントに遭ったり、違うカギを持っていたりして、入れなかったりしたらどうしましょう。備えあれば、憂いなし。「すべての人が、救われて、真理を悟ることを、神御自身が願っておられる」Iテモテ2の4。ヨハネ福音書3の16。

なんと数日前の朝日新聞の一面に、聖書の引用が2つもあった。ひとつは「天声人語」に。「いまから160年前、リンカーンは演説で聖書の一節を引いた。奴隷制をめぐって対立した賛否両派に結束を訴えるためだ。残念ながらいまの米国にリンカーンの姿は見えない。」

もうひとつは「折々のことば」に登場。「思慮の浅い者たちは、あかりは持っていたが、油を用意していなかった。」(マタイ福音書25の3)

「油注ぎの重要性(Anointing)」や渴きの大切さが叫ばれているとき、このような聖句が世に出るとは、まことに不思議。「先の見えない、塞いだ時代だと人は言う。けれども視界が遮られているのは、未来が不確定だからではなく、目を凝らせばある未来が確実に来るのがわかるのに、すべて先送りにし、その対策に本気で着手できないでいるからではないのか。」

(ネ！すごいでしょう！！これ一般の大新聞ですよ。)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ヘブル8章~12章 Bコース:哀歌3章~エゼキエル16章